



国際情報学院中だより

No. 8 令和7年11月28日

教育目標：共生の精神をもち、主体的に力強く生きる人間の育成

校訓：明朗 礼節 進取 自律



No Limits, No Fears.

海と今の自分を超えて、大きな成長が見られました！

令和7年11月4日から7日の4日間、本校3年生が台湾への修学旅行を実施しました。生徒たちが掲げたテーマは「No Limits, No Fears. ～海と今の自分を超えて～」。“限界は自ら超えるもの、不安は努力で乗り越えるもの”・・・その強い思いが込められたテーマのとおり、各場面での生徒の姿からは、成長への確かな意志が感じられました。

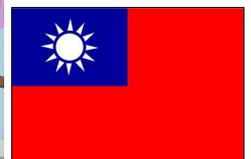
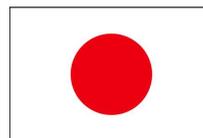
修学旅行2日目には、今回の修学旅行の大きな柱である三民国民中学校との学校交流が行われました。出発時に渋滞に巻き込まれ、到着が40分ほど遅れるというアクシデントはありましたが、生徒たちは失われた時間を取り戻すかのように、笑顔で交流をスタートさせました。引率の先生の報告では、バディとの会話に積極的に挑む生徒の姿が多く見られたとのこと。バスの中では緊張や不安を口にしていた生徒も、三民国民中学校の生徒による心温まる歓迎に触れた途端、自然に笑顔が生まれ、あっという間に打ち解けていったようです。準備に時間をかけた学校紹介プレゼンテーションも堂々と発表でき、サプライズで披露した男子生徒のパフォーマンスも大盛り上がりだったと聞いています。

何より、三民国民中学校の皆さんの温かいおもてなしに、生徒たちは深く感動し、心が通い合う貴重な時間となりました。個別の会話もしっかりとできた3年生の姿からは、まさにテーマに込めた「限界や不安を超えていく」という思いを体現してくれたと感じています。

余談ですが、帰国後ある生徒に「一番楽しかったことは？」と尋ねたところ、「三民国民中学校との交流です」と即答してくれました。担任の先生によれば、その生徒は「観光地は大人になってからでも行けるけれど、この交流は『今』しかできないものだった。もっと交流したかった」と話していたそうです。体験の本質を自らつかみ取り、そこに価値を見いだせる、その姿勢に私自身深く心を動かされました。

私が2度目のKJ勤務で改めて感じるのは、「KJは英語教育や国際交流の機会には恵まれているものの、それを生かすのは生徒一人一人の取り組む姿勢である」ということです。今回の3年生のように、目の前の体験に意義を見つけ、意欲をもって取り組むからこそ、大きな成長が生まれるのだと思います。これからの学校生活でも、ぜひ目標をもって挑戦し続けてほしいと願っています。

海外での活動ということでご心配もあったことと思いますが、快く生徒たちを送り出してくださいました保護者の皆さまに、改めて心より感謝申し上げます。





地域清掃ボランティア実施！

～地域に愛され、共に歩む学校となるために～

今年度のボランティア活動として、11月18日（火）に生徒会執行部と有志生徒が若草ロードおよびJR大館駅周辺で清掃活動を行いました。例年は夏季休業中に実施していますが、今年度はクマの出没が相次いだことから、安全面を考慮し、この時期での実施となりました。

当日は、学校周辺の清掃、駅連絡通路の窓清掃、周辺道路の美化活動を中心に取り組み、短時間ながら広い範囲を整えることができました。活動後、生徒たちは「地域の役に立ててうれしい」「寒かったけどがんばった」「きれいになると気持ちがいい」など、地域の一員としての達成感を口々に話していました。また、近隣住民や駅利用者の方々から「ありがとう」「がんばっているね」といった温かい言葉をいただき、生徒たちにとって自分たちの行動の意味を実感する貴重な機会となりました。

今回の活動では、学年や所属の異なる生徒同士が役割分担をし、声をかけ合いながら作業を進める姿が見られ、協働性や責任感の育成にもつながりました。大館市内外から生徒が集まる本校にとって、地域と直接関わる体験は大変貴重であり、このような美化活動は地域とのつながりを実感できる有意義な取組となっています。今後も安全確認をより丁寧に行いながら、地域のニーズをふまえた継続的な環境美化活動として継続していきたいと考えています。



二者面談へのご来校
ありがとうございます。

感謝

現在、本校では11月25日（火）から12月11日（木）まで二者面談を実施しています。お忙しい中にもかかわらずご来校いただいている保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。

二者面談は、生徒の学校でのがんばりや成長の様子をお伝えする大切な機会であると同時に、ご家庭での様子や普段は見えにくい困りごと、気になっている点などを共有していただく貴重な時間でもあります。また、学校と家庭が情報を交換し、生徒一人一人をより深く理解することで、より適切な支援や指導につなげることができると思います。

面談のたびに、保護者の皆様が温かいまなざしでお子さんの成長を見守り、学校と共に歩んでくださっていることを改めて実感しています。今回の面談の期間に限らず、学校生活の中でご不安な点や気がかりなことがありましたら、どうぞ遠慮なく学校へご相談ください。